

学校名	男鹿東中学校
-----	--------

実施日	令和2年8月27日(木)
講師名(団体名)	秋田ノーザンハピネッツ 長谷川暢 選手
対象学年	第2学年
主な活動内容	秋田でプロスポーツ選手として活動している方の話を聞くことにより、志をもって挑戦することについて考え、将来の夢を目指そうとする意欲を高める。
所感等	<p>総合的な学習の時間に、外部講師として講演していただいた。プロスポーツ選手の立場から、「学ぶこと」「働くこと」の意義や、やりがい、楽しさ、苦勞など、具体的な例を挙げながら話してくださった。</p> <p>地元で働く社会人の魅力に触れることができたことは、今後の生徒たちの学習や生き方に、大いに影響を与えてくれることと思う。</p>





ハピネッツ長谷川選手

勉強は可能性広げる

男鹿東中で職業講話

バスケットボール男子Bリーグ1部秋田フーズンハピネッツの長谷川暢選手(23)が27日、男鹿市の男鹿東中学校で職業をテーマに講話した。2年生の総合的な学習の一環で、生徒104人に「夢中になれることを一つ見つけてほしい」と語り掛けた。

埼玉県出身の長谷川選手は中学時代に全国制覇を経験し、能代工業高校へ進んだ。バスケットに打ち込む一方、

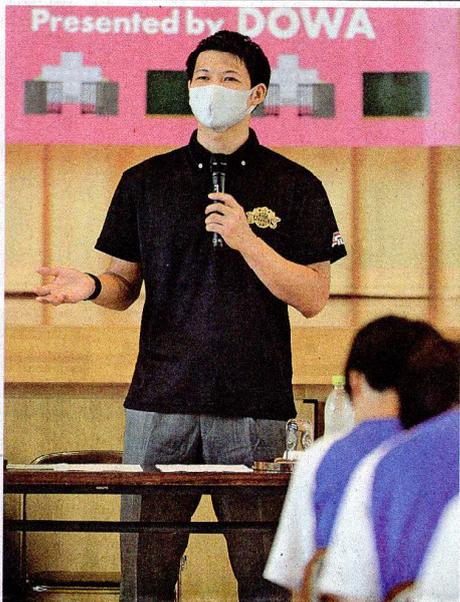
学校の成績で進学先が限られないよう授業にも集中して取り組んだという。

大好きなバスケットを職業

にしたいという夢を持っていたが、教員になりたい気持ちもあり早稲田大に進学。最終的には子どもの頃からの憧れを諦めたくないと思い、3年でプロへの挑戦を決めた。自分の可能性や、できることの幅を広げるために勉強は大切。高校や大学は夢に向かう過程なので、迷った時は周りにいろいろな相談してほしい」とアドバイスした。

生徒を代表してラグビー部の吉田琉生さんが「競技は違うが、参考になる話がたくさんあった。これからの生活で生かしたい」と感謝を述べた。

(田中倫子)



夢をかなえるまでの歩みを生徒に伝える長谷川選手